

## ○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和4年2月定例会

### 観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、来島海峡大橋の姉妹橋協定の締結等についてであります。

このことについて一部の委員から、姉妹橋協定締結に向けた取組状況はどうか、また、旅行客の滞在の長期化にどのように取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、しまなみ海道の更なる世界ブランド化に向け、サイクルツーリズムの盛んな海外エリアとサイクリングを核とした継続的な地域間交流を進めるため、しまなみ海道を象徴する来島海峡大橋と、自転車が通行可能な欧米豪の著名な橋による姉妹橋協定の締結を目指し、関係機関と協議や調整を進めている。

また、来年度から、しまなみ海道と松山・西条を結ぶエリアを広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」として設定し、エリア内で温泉・美術館巡りや登山等の多彩なアクティビティを体験しながら、数日をかけて自転車で周遊するルートの創設に着手したい旨の答弁がありました。

第2点は、ICT教育導入の成果と課題についてであります。

このことについて一部の委員から、1人1台端末の活用状況や効果はどうか、また、今後の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、プレゼンテーション資料の共同制作や、AIドリルを活用した、生徒の理解度に応じた学習など、様々な場面で有効活用され、児童生徒の意欲的な取組みにつながるなど、高い効果があったと認識している。また、コロナ禍で臨時休業となった学校では、オンラインによる授業や学習指導が実施され、児童生徒の学びを止めない取組みが進められている。

来年度は、県独自のCBTシステムに、正答に導く機能や間違えた問題に再挑戦できる機能を新たに加え、分かる楽しさを実感できる学びを実現するとともに、本システムと連動したアプリを開発・運用するなど、ICTを一層効果

的に活用できるよう取り組みたい旨の答弁がありました。

第3点は、交通安全施設の整備事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業内容はどうか、また、通学路の安全確保にどう取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、国の補助事業では、交通安全と円滑の確保のための信号機の新設やLED化のほか、生活道路対策のための道路標識・標示の整備等を予定しており、県単独事業では、交通事故分析に基づく安全対策や交通安全施設の老朽化対策として横断歩道や規制標識の整備等を予定している。

また、通学路の安全確保については、2月補正予算に計上した横断歩道の補修等に加え、現地調査や地元住民の同意が必要な交通規制新設等の50か所に横断歩道の整備等の交通安全対策を実施することとしている。

県警では、今後も県民要望や事故分析結果等を基に、交通事故抑止に資する交通安全施設の整備に努め、交通安全と円滑の確保を進めていく旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 県内プロスポーツへの支援
- ・ 観光分野とスポーツ・文化分野との連携
- ・ えひめ版STEAM教育の導入
- ・ えひめ未来マイスターの育成
- ・ 犯罪被害者への支援
- ・ 警察施設の整備

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。